



SEADS研修生は鶴岡市内での新規就農を目指し、市内各地で実習を行っています。鶴岡市をはじめ、全国各地から集まった研修生をあたたくご支援ください。

SEADSのホームページはこちらのQRコードからご覧いただけます。

修了生が研修会で講演しました

6月11日に行われた藤島認定農業者の会の研修会において、同地区に定住・就農したSEADS修了生が、就農地として藤島地域を選んだ経緯やこれからの展望を伝えました。

参加された同地区の農業者からは「新しい視点だった。これからも頑張ってもらいたい。」とエールが送られました。



(「鶴岡市への移住とこれから」の講演を行う修了生)

“やまがた紅王” 誕生の歴史を学ぶ

6月14日に庄内総合支庁農業技術普及課の石黒技監をお招きして、本県におけるさくらんぼの普及と新品種開発の歴史についてお話しいただきました。

庄内地方では民間における水稲の新品種開発が盛んであったため、水稲と比較した説明などもあり、特産になった経緯を含め、たくさんの質問が寄せられました。



(「山形C12号(やまがた紅王)」の講義の様子)

最上地方の農業を視察しました

6月22日に最上地方の産地研究室ならびにJA集出荷施設を訪れ、特産であるアスパラガスの栽培方法について学びました。

生産農家から「豊富な堆きゅう肥を活用した土づくりに力を入れている。植え付けてから20年になるが、いまだに収量が落ちない」と聞いた研修生は非常に驚いていました。



(アスパラガスの生育の説明を聞く)

研修風景



(SEADS農場の作業)